

## 令和4年度第3回広島市障害者自立支援協議会議事要旨

### 1 開催日時

令和5年3月3日（金）午後7時00分～8時10分（オンライン開催）

### 2 出席委員（16人）

船津委員、西村委員、河口委員、原田委員、竹本委員、村木委員、武井委員、遠藤委員、上土井委員、柏田委員、江本委員、野々川委員、西河内委員、天方委員、岡野委員、一丸委員

### 3 議題

#### (1) 精神障害者地域支援部会の実施状況について（報告）

<事務局> 説明（資料1）

<委員> 「2 令和3年度第2回部会開催概要」の「(5) 主な協議事項」の協議3に記載されている「入院患者等へのアンケート調査や支援者への研修会」とあるが、福祉関係の支援者にどのような方が含まれているのか。

<事務局> アンケート調査については、一旦見送りとしており、支援者への研修会については、今年の2月9日に連携会議を開催している。その際、障害部門を主とした医療・保健・福祉の関係者へお声かけしご参加いただいた。

<委員> その福祉の部門に、民氏委員さんや一般のボランティアの方等は含まれているか。これから、地域移行や地域定着を目指すのであれば、支援の可能性というものが大切になってくる。そして、精神障害者の方の支援はなかなか難しいと聞いているので、そういった方の力をお借りして支援していくことも必要になってくる。

<事務局> 今年の2月に開催した会議では、支援者の方へお声かけしているが、今後は、そういった地域の方も含めて広く考えていきたいと思う。

#### (2) 障害者差別解消に係る施策の実施状況について（報告）

<事務局> 説明（資料2）

<委員> 今後は、差別解消法の推進だけでなく、障害者虐待通報件数や権利擁護部会等の報告もお願いしたい。

<事務局> 権利擁護関係の相談や、虐待通報ダイヤル（委託）で受けている通報についても、今後当協議会で報告できるよう調整したい。

#### (3) 医療的ケア児等の支援体制について（報告）

<事務局> 説明（資料3）

<委員> 民生委員は、要支援者名簿に載った方のみを支援するが、それに手を挙げられなかった方への支援のあり方を考えていくこともまた、難しいと思う。

<事務局> まずは個別避難計画の作成状況を確認しながら、名簿に登載のある方かどうかの確認や、実際どのような避難をされたらよいのか等の検討を、今後進めていく予定である。

<委員> 障害者の避難に関する情報が少ない。そして、自閉症等の場合、障害者だけが避難する場所があっても行けない。多動傾向の子供と避難した場合、親のメンタルが大変である。災害時の情報を、ビデオや動画を活用して見てもらうことも大切だと思う。

医療的ケアといっても幅がある。実際、父母の会の皆さんの意見を聞いたら、「避難しない」と言う。3日分くらいの避難用具を持ってそこにいと。医療ケア児を連れて避難するといっても、がれき等の上は車椅子で通れない。そういう色々な事を考えると、「避難することは難しい」と思うがどうか。

<事務局> 自宅にいた方が安全なこともあるし、避難した方がよい場合もあるので、個別避難計画の作成状況等を確認しながら、個々の細かな状況を考慮した避難の在り方検討をしていく予定である。

<委員> 障害者の避難場所はあると思うが、お母さん方はそういう所を調べる余裕がない。だから、そういう情報も教えてほしい。広島市は、親同伴で避難できるのか。障害者のことは親が1番理解している。たとえボランティアや民生委員の方がいらっしやっても、その子その子で分からないことがたくさんあると思うので、親と一緒に避難できるようにした方がいい。

<事務局> 福祉避難所については、今後も担当課と協議していく予定である。